

2021年11月11日
(1/2)

ダイハツ、インドネシアでDNGA初となるBセグメント小型車を新発売 ～7人乗りコンパクトMPV「XENIA（セニア）」をフルモデルチェンジ～



新型「XENIA」（オプション装着車）

ダイハツ工業（株）（以下、ダイハツ）のインドネシアの現地法人であるアストラ・ダイハツ・モーター社（以下、ADM）は11月11日、DNGA初のBセグメント小型車として、7人乗りコンパクトMPV※1「XENIA（セニア）」を10年ぶりにフルモデルチェンジし発売しました。

新型「XENIA」は、ダイハツの新世代のクルマづくり「DNGA（Daihatsu New Global Architecture）」によるインドネシア第2弾商品であり、これまで同様、トヨタグループの新興国小型車事業の一環として、トヨタ自動車へOEM供給を行います。

「XENIA」は、2004年にトヨタとの初の共同開発車として発売し、Bセグメントのコンパクトなボディサイズながら大人7人がしっかり乗れる3列シートの広い室内空間を実現するとともに、お求めやすい価格設定とした商品であり、インドネシア市場における新ジャンルを切り開いてきたダイハツの基幹車種です。発売からの累計販売台数は、ダイハツがインドネシアで販売する商品において最大となる約68万台に上ります。

今回のフルモデルチェンジにあたり、プラットフォームを一新し、「XENIA」として初めてFF（フロントエンジン・フロントドライブ）レイアウトを採用、高効率パッケージングを実現し、広くて使いやすい室内空間をさらに進化させました。また、D-CVTを採用し、燃費性能を向上させながら、快適な走行性能を実現しました。さらに、インテリア・エクステリアデザインはよりスポーティな印象に仕上げるとともに、使い勝手の良さも向上させながら、お求めやすい価格としています。安全性能については、今年4月に発売した新型コンパクトSUV「Rocky」に続き予防安全装備「スマートアシスト（現地名：Advanced Safety Assist）」を導入し、高まる安全・安心へのご要望にお応えします。

ダイハツは今後もDNGA商品を、アセアンを中心とした新興国へ展開するとともに、各地域での自動車の普及および産業の発展、人材育成に貢献し、お客様の生活に寄り添った企業を目指します。

※1：Multi-Purpose Vehicle

【新型「XENIA」の主な特長】

1. 進化した広い室内空間と使い勝手の良さ

FFレイアウトを採用、従来型から室内長を160mm拡大し、大人7人がゆったり乗れて荷物も十分に積載できる広くて使いやすい室内空間をさらに進化させながら、取り回しの良いコンパクトボディを実現するとともに、多彩なシートアレンジを設定

2. お求めやすい価格

機能強化を図りながら、メインターゲットであるヤングファミリー層にもお求めやすい価格設定

3. DNGAによる高い基本性能

DNGAによる新BセグメントプラットフォームやD-CVTの採用等による、優れた燃費性能と快適な走行性能

4. スポーティなデザイン

従来型より大きな大径タイヤを採用するとともに、インドネシアのお客様の好みを反映した、よりスポーティなインテリア・エクステリアデザインへ進化

5. 安全・安心

予防安全装備「スマートアシスト（現地名：Advanced Safety Assist）」をお求めやすい価格で設定

【主要諸元】

駆動方式	FF (Front engine, Front wheel drive)
エンジン	1NR-VE (1.3L・NA ^{※2}) /2NR-VE (1.5L・NA ^{※2})
トランスミッション	CVT (D-CVT) /5MT
乗員定員	7名
全長×全幅×全高	4,395mm × 1,730mm × 1,700mm

※2 NA：Natural Aspirated engine（自然吸気エンジン）

【希望小売価格】

1億9090万ルピア～2億4270万ルピア

（日本円：約153万円～約194万円（1ルピア＝0.008円（11月10日時点）で換算））

【生産工場】

ADM（アストラ・ダイハツ・モーター） スンター車両工場

以 上